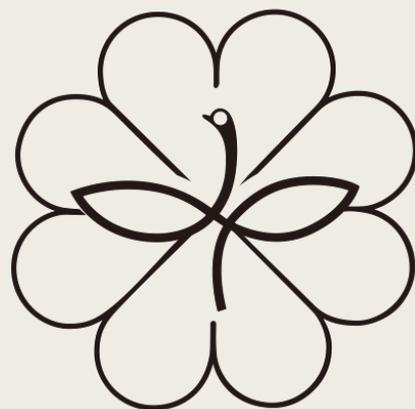


令和6年度 4期目以上対象
民生委員児童委員実務研修



令和6年10月29日(火) 14:00～ 金沢市松ヶ枝福祉館

内容

1. 啓発 ……金沢市の各種計画の策定過程と参画例を学ぶ
福祉問題を住民と共有する方法を学ぶ
(担当：金沢市福祉健康局福祉政策課)
2. 地域連携……連携づくりの方法および地域資源の開発について、事例を通して学ぶ
(担当：金沢市地域包括支援センター)

到達目標

1. 今日的課題に対応する民生委員・児童委員の役割についての理解
2. 専門職や住民と協働した地域連携の手法についての理解

各種福祉計画策定への参画事例

①金沢市地域福祉計画2023の例

②長寿安心プラン2024の例

①金沢市地域福祉計画2023の例

○目的

急速な少子高齢化の進展に伴い、民生委員児童委員・主任児童委員の活動領域が広まり、業務量が増加傾向にあるため、その活動実態の把握と今後の役割や機能を検討するため

○実施方法

書面アンケート調査（各地区とりまとめて提出）

○対象者

金沢市の民生委員 1, 120名（男388名、女732名）

○調査内容

- ・ 回答者の状況
年齢、就労状況、在任期間、これまでの地域活動の実績 など
- ・ 活動に対する意識について
やりがい、地域住民の理解度、担当世帯数
- ・ 現在の活動と今後について
支援を行う世帯の状況、活動上の苦労や悩み、今後必要なこと

○計画への反映

今後の民生委員等の活動環境整備に必要な課題をまとめ、負担軽減や町会等との連携・協力体制の強化、円滑な活動が行えるよう手引きや事例集の作成、実務研修会の実施などを計画に明記

②長寿安心プラン2024の例

○目的

長寿安心プラン（介護保険事業計画）の策定に当たり、被保険者の意見を反映させることが求められている。

民生委員児童委員に対して、地域住民の意見をくみ上げることを目的として回答を依頼した（任意回答）。

○実施方法

- ・介護保険市民フォーラムでの意見交換・アンケートに回答
- ・WEBアンケートに回答

○回答数

全212件（うち民生委員児童委員回答 14件）

○調査内容

- ・ 回答者の状況（年代、属性）
- ・ 金沢市の介護保険の課題や高齢者施策についての意見
- ・ その他、介護保険に関して

○計画への反映

全回答内容を長寿安心プランにおける施策の項目毎に整理を行い、被保険者の要望が多い事項を把握等するために活用した。

民生委員からは「介護人材の確保や離職防止対策」「元気高齢者の活躍」「介護予防への取組み」等について意見を頂いた。

参考:地区別地域福祉活動計画

○目的

地域課題を地域全体で共有することにより、解決する方法を地域で考えることができ、諸団体との連携や事業調整につながるため

○実施方法

地区別地域福祉活動計画策定委員会
(地区社協主催)

○対象者 (例)

地区社協、地区民児協、公民館、児童館、包括、町会連合会等

福祉問題を住民と共有する方法

民生委員児童委員協議会として、地域の福祉問題を住民に伝え、共有する方法について学ぶ

地域の福祉問題（福祉課題）

◆急激な少子高齢化

R6.9.15総務省が公表した高齢化率は29.3%

←過去最高を更新

※金沢市の高齢化率は27.7%（R6.4.1現在）

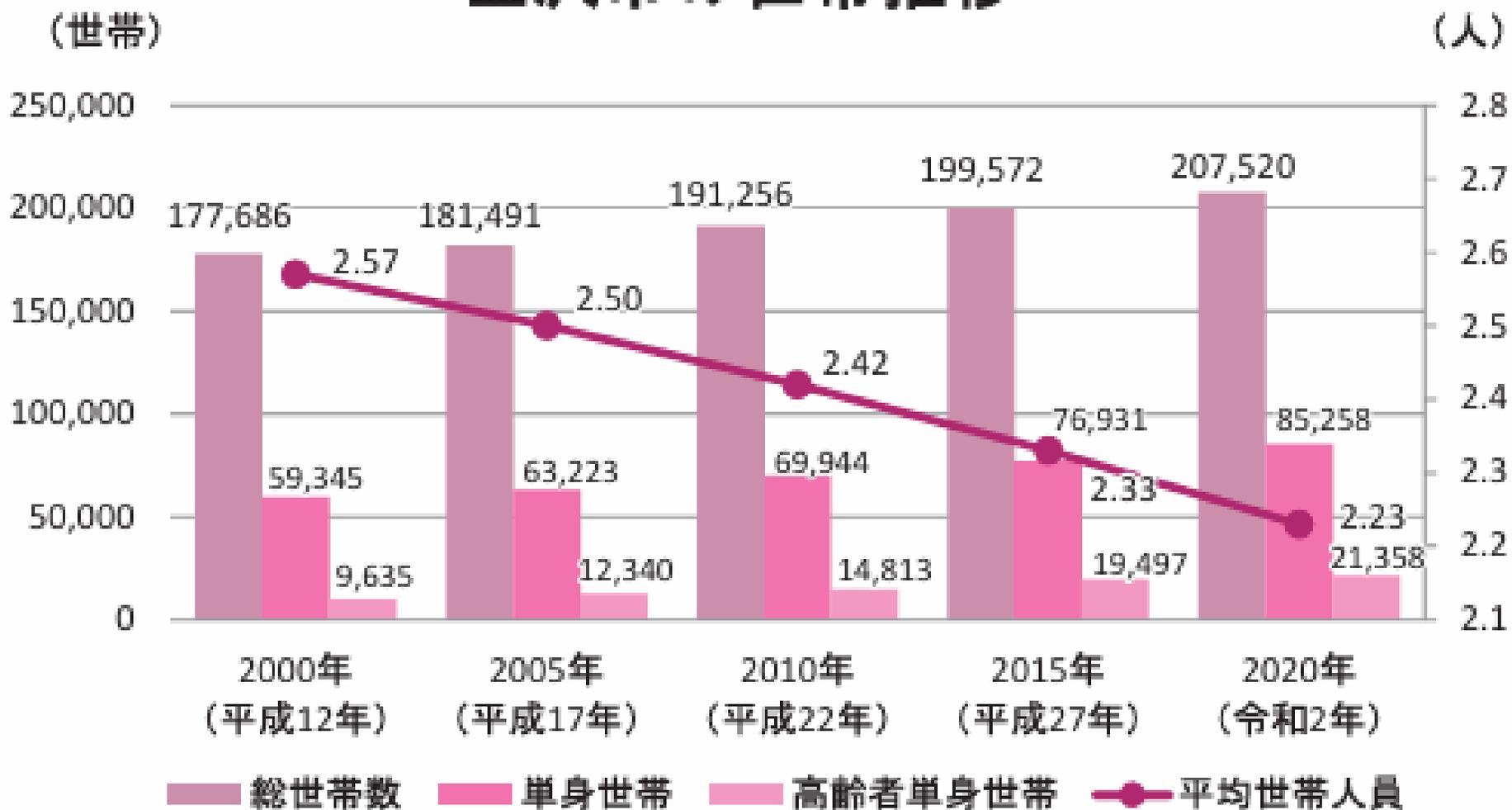
◆新型コロナウイルス流行後、人間関係の希薄化が進み、**孤立・孤独**という問題が顕在化

◆**8050問題**（80代の親と50代の無職の子）

◆ひきこもり

【参考】

金沢市の世帯推移



(資料) 国勢調査

*「単身世帯」に「高齢者単身世帯」を含む。

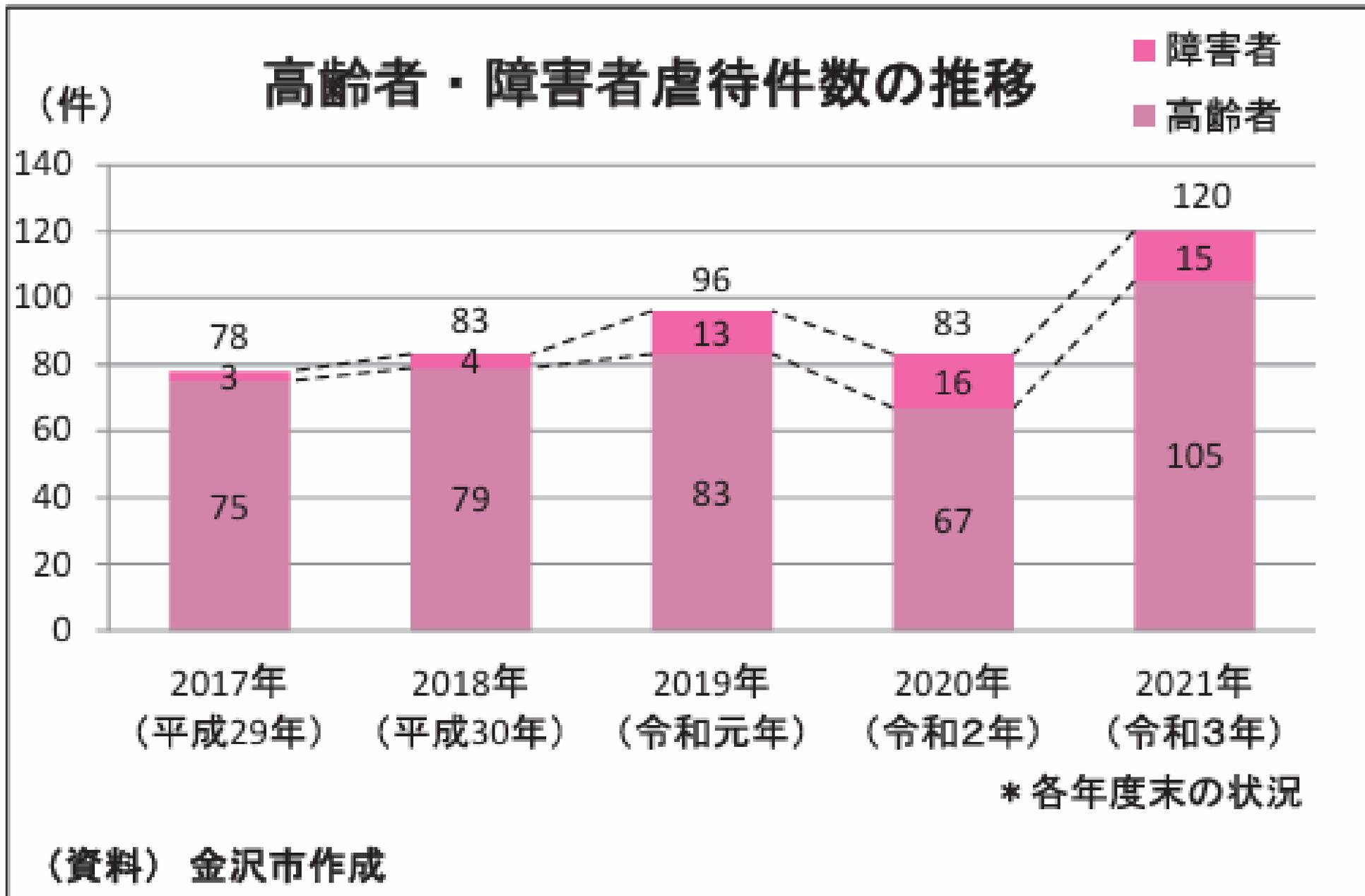
出典：金沢市地域福祉計画2023より

地域の福祉問題（福祉課題）

- ◆ 高齢者・障害者・児童虐待
 - ◆ 生活困窮者の増加
 - ◆ 災害時の要援護者支援体制 など
- …**複雑・多様化、深刻化**

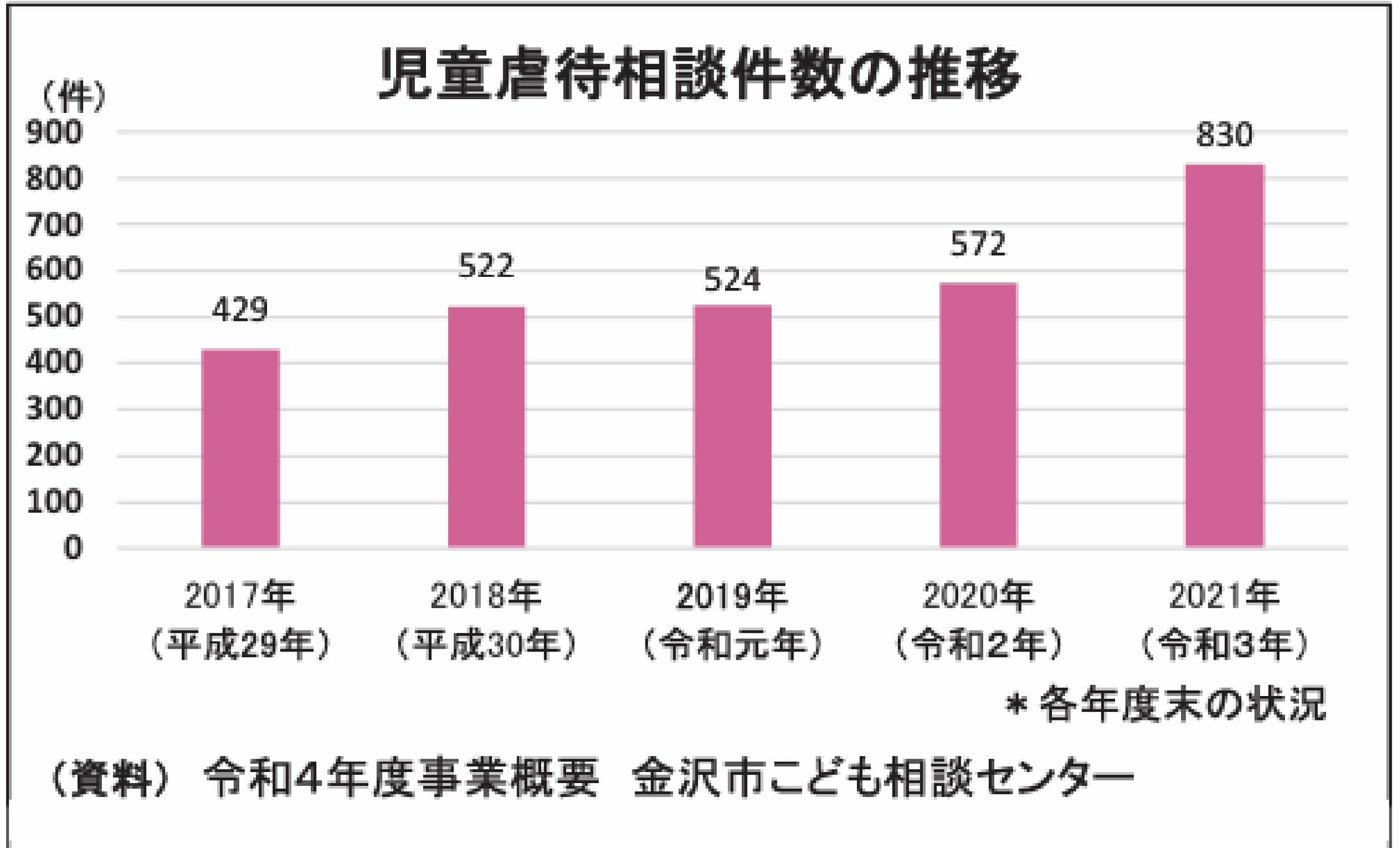


【参考】



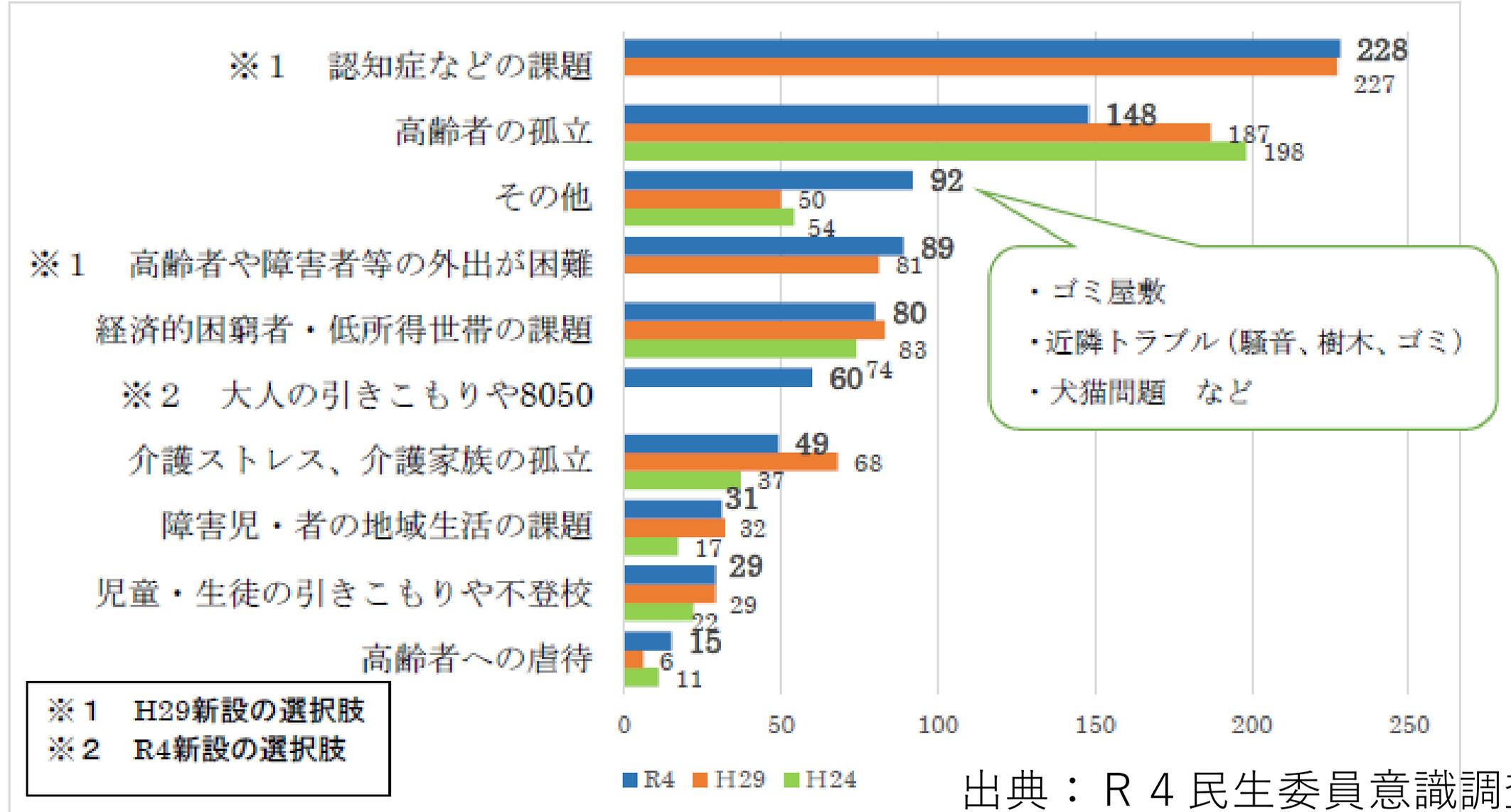
出典：金沢市地域福祉計画2023より

【参考】



出典：金沢市地域福祉計画2023より

【参考】 R 4 民生委員意識調査
「直近1年間で把握（対応）した困りごとを抱えている世帯」



なぜ、地域の福祉問題を住民に伝え、共有する必要があるのか

地域住民ひとりひとりが地域の福祉問題に関心を寄せることが、「地域共生社会」の第一歩

「地域共生社会」とは…
制度・分野の枠や「支える側」「支えられる側」という関係を超え、人と人・人と社会がつながることで、住民ひとりひとりの暮らしと生きがい、地域を共に創ることができる社会



なぜ、地域の福祉問題を住民に伝え、共有する必要があるのか

- ◆地域の福祉問題に関心を持つ住民が増えることで、困りごとを抱える住民を早期に発見し、相談支援につなげやすくなる
- ◆町会など地域の各種団体との連携が進めやすくなる
- ◆民生委員活動に対する理解・協力が得られ、支援者の拡大、ひいては民生委員のなり手確保につながる可能性

具体例をイメージしてみる

担当地域にお住まいの花子さんは、80代の女性で長男夫婦と暮らしています。

よく地域サロンに参加されていましたが、新型コロナウイルスで地域サロンは休止。再開後、花子さんは地域サロンに参加することはありませんでした。



近所のスーパーで、久しぶりに花子さんに会ったので声をかけたところ、夏なのにセーターを着ている、会話のつじつまが合わない、会計に戸惑うなど、花子さんの様子がおかしいことに気づきました。

「もしかして認知症の症状では？」

「認知症になっても、特に買い物の時など、地域の方のさりげないサポートがあれば安心できるなあ」

「認知症について地域の方に伝える企画をできないかなあ」

どんな方法が考えられるか

◆伝えたいことを整理する

- 認知症に関する正しい情報 ⇒ 誤解や偏見をなくす
- 認知症の方への対応方法
- 認知症の予防 など

◆どのように伝えるか

- 勉強会や研修会の開催（認知症サポーター養成講座など）
- 交流会の開催（認知症カフェなど）
- チラシやリーフレットの作成
- 要援護者マップの作成
- アンケート調査と報告会の実施 など

どんな方法が考えられるか

◆関係機関等との連携・協働

・地域包括支援センター

⇒既存の認知症カフェを生かさないか

⇒専門職（認知症地域支援推進員）との連携 など

・町会

⇒町会単位での取組の可能性

・地区社協

→地域福祉活動推進の中核

民生委員との連携が不可欠





地域住民

知恵と力を出し合う場の設定・支援



社会福祉に関する活動を行う者
民生委員児童委員、まちぐるみ福祉活動推進員、ボランティア、NPOなど

住民の福祉向上



※構成団体は一例です。

社協のL字型構造
(各種団体と横並びで重なり合う組織)
福祉としての専門性を発揮し、各種団体と協働して地域福祉を総合的にすすめます。



社会福祉を目的とする事業を営業者
社会福祉法人・NPO法人・民間企業・生協等の事業者

問題発見と課題整理



市役所など

みなさんにお聞きします（意見交換）

質問 1

皆さんは、地域の福祉問題について
町会長など地域住民と共有できていますか

質問 2

できている：
実際にどのような場で
福祉問題を共有していますか

できていない：
どのような場があれば良い
（できる）と思いますか

まとめ

- ◆福祉問題の共有は、地域福祉の推進に不可欠です。
多様な人・組織を良い意味で巻き込むことで
「福祉ニーズは地域でみんなで考えよう」という機運が醸成
され、**支え合いの地域づくり**につながります。
- ◆民生委員活動における支援や援助は、相談者個人への
働きかけと同時に、相談者の身近な方々へ働きかけを行う
ことがネットワークをつくることにつながります。
- ◆地区社協やまちぐるみ福祉活動推進員、町会関係者、
行政や地域包括支援センターなども交え
地域全体に**支援のネットワーク**を拡充していきましょう。

令和6年度
4期目以上対象
民生委員児童委員実務研修会

令和6年10月29日14時～15時半
金沢市松ヶ枝福祉館 4階集会室
金沢市地域包括支援センターさくらまち
管理者 長井裕美

本日の予定

- 連携の方法～地域づくりのために～
- 金沢市地域包括支援センターさくらまちの地域について紹介
- ご自分の担当している地域について振り返り
 - お隣の方と共有
 - 数名発表をお願いします
- 地域資源開発についての事例紹介

地域づくりのために

- 地域の特徴をしる(地域診断)
- 日ごろから地域住民の声を聴く(情報収集)
- 地域の方とつながっておく (情報が集まるように)
- 地域住民が住み慣れた地域で住み続けるためには何が必要かを考える(地域課題)

地域づくりのために

- 一人でかかえない→発信する
- 地域内でのつながりの中での相談→町会長はじめ町会役員など
- 協議を大切にする→民生委員定例会や地域ケア会議活用

金沢市地域包括支援センターさくらまち

- 材木、味噌蔵地区担当
 - 小学校は、合併し兼六小学校のみ
兼六中学校区一部
 - 人口材木8261味噌蔵6366
 - 高齢化率金沢市27.7%
 - 材木35.3%(12番目)
 - 味噌蔵36%(10番目)
- 出典 令和6年度まちぐるみ福祉活動ガイドブック
- 両地区とも善隣館あり





善隣館・地域サロン

サテライトサロン・集いの場



包括支援センター

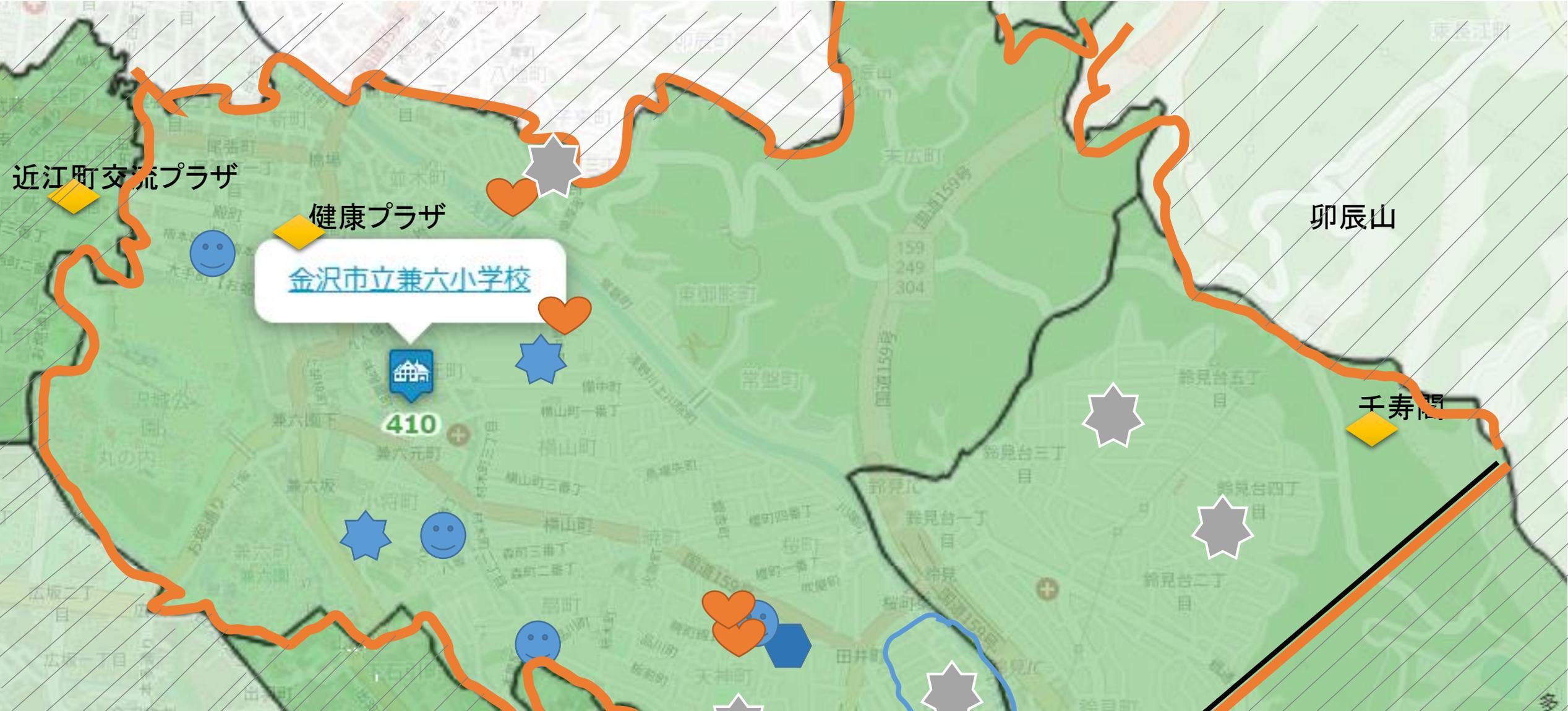


オレンジカフェ



移動販売

さくらまち管内の主な集いの場

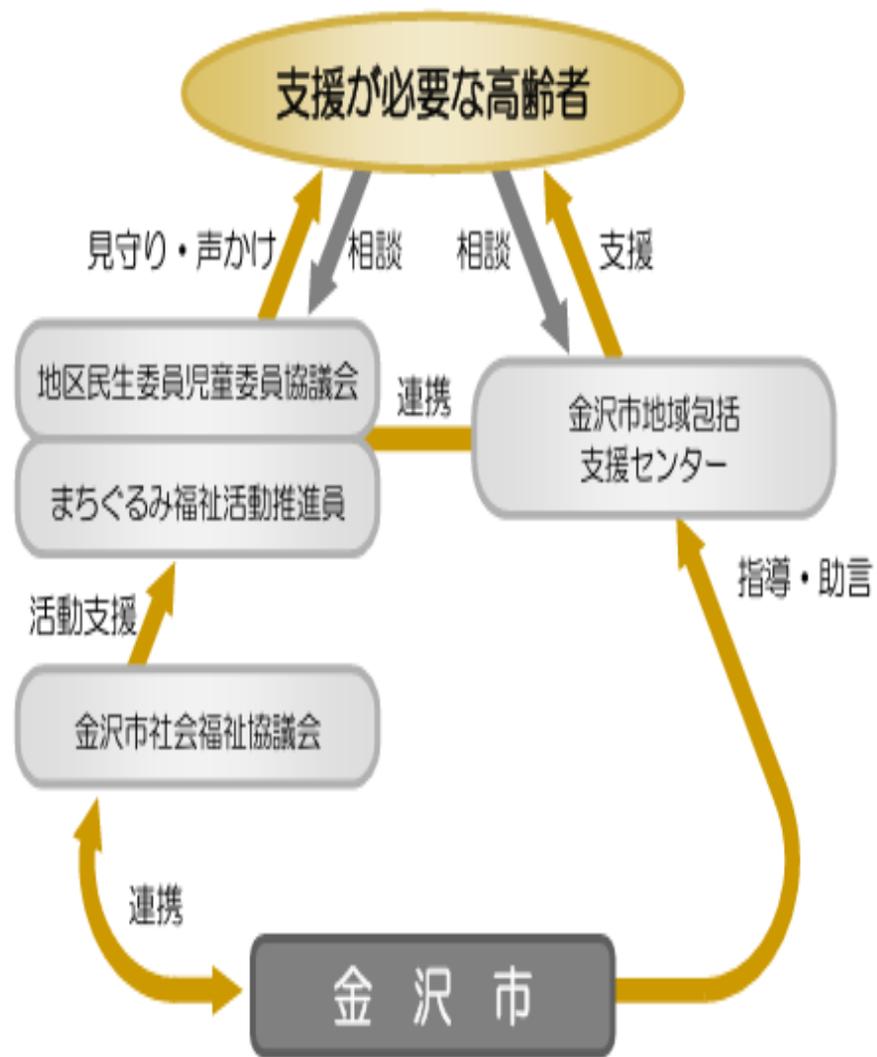


担当地域について振り返る お隣の方と共有 5分間

- 地域の特徴

- 地域の声

■図 27 まちぐるみ福祉活動を支えるネットワーク



出典・長寿安心プラン2024

金沢市地域包括支援センター

高齢者のお住まいの地域を担当するセンターにご相談ください。

センター名	担当地域	住 所		電話番号	FAX番号
きしかわ	森本	岸川町ほ5	金沢朱鷺の苑内	257-7878	257-7200
ふくひさ	小坂・千坂	小坂町中83	浅ノ川総合病院内	293-2913	293-1480
かすが	浅野・森山・夕日寺	山の上町1-26	ハイロードビル2階	253-4165	253-4170
おおてまち	長町・松ヶ枝・長土堀・芳齋・此花・瓢箪・馬場	彦三町1-13-41		263-5517	263-5721
さくらまち	材木・味噌蔵	桜町24-30	宗広病院内	222-5722	224-0189
たがみ	犀川・湯涌・浅川	田上本町力45-1	ピカソ内	231-8025	231-8026
もろえ	諸江・浅野川・川北	沖町ハ15	金沢病院内	293-5084	293-5078
くらつき	靱月・粟崎・大野・金石	靱月東1-6	シニアホームみらい靱月内	237-8063	237-8186
えきにしほんまち	大徳	駅西本町6-15-41	金沢西病院内	233-1873	233-1874
ひろおか	長田・戸板・西	広岡2-1-7	中央金沢朱鷺の苑内	234-2129	234-7722
まぎら*1	米丸・新神田	間明町1-242		272-8358	272-8359
きたづか	二塚・安原	北塚町西440	ケアハウスあいびす内	240-4604	240-3377
とびうめ	新竪・菊川・小立野	飛梅町2-1		231-3377	231-3112
みつちしんまち	崎浦・内川	三口新町1-8-1	陽風園内	263-7163	263-7253
ながさか	十一屋・泉野・長坂台	長坂3-1-1		280-5111	280-5123
いずみの	野町・中村・弥生	泉が丘2-1-12		259-0522	242-1129
ありまつ	三馬・米泉	有松5-2-24	金沢有松病院内	242-5510	242-9070
やましな	富樫・伏見台	山科町午40-1	シニアマインド21内	241-8165	241-1178
ぬか*2	額・扇台・四十万	高尾南3-7	タカオビル101	225-5031	225-5661
かみあらや	押野・西南部・三和	上荒屋1-39	やすらぎホーム内	269-0850	298-6984

*1 令和6年4月 新設 *2 令和6年4月 名称変更

出典・金沢市介護保険パンフレット

担当地域について振り返る お隣の方と共有

- 誰とつながっているか？
- 相談できる方や機関は？

地域資源の開発①

出典 北陸中日新聞

- 「のってこ号」
- 2023年11月から地域主導で開始
- 2023年12月「のってこ号」役員会に参加
- 鈴見台全域での参加ではない事を把握

石川

地域の足 住民の手で 金沢 鈴見・若松地区「のってこ号」

2023年11月2日 05時05分 (11月2日 11時11分更新)



「のってこ号」の出発式でテープカットする菅田豊会長（右から2人目）ら＝金沢市もりの里で

試験運行開始「生活インフラに」

買い物や通院など高齢者らの移動手段を確保するため、金沢市郊外にある鈴見・若松両地区の住民が主体的に運営する地域交通サービス「のってこ号」の試験運行が1日に始まった。毎週水曜日に3便、地区の住宅地から周辺の店舗、診療所を結ぶマイクロバスやジャンボタクシーを走らせる。停留所がある同市もりの里のスーパー駐車場で出発式があった。（河野晴気）

のってこ号は、若松町1丁目町会、鈴見台第3町会、鈴見三和会、鈴見台5丁目町会に住む370世帯が利用対象。5カ月5千円か1カ月1200円の登録料を支払うと乗車カードが発行される。天候などに応じてバスとタクシーを使い分け、実際の運行は大和タクシーが担う。

両地区は山手に位置し、移動手段が限られる高齢者も多くなる中、住民らでつくる運行委員会が約3年前から協議。ルートや時刻表も自ら決めた。出発式で菅田豊会長（76）は「市中心部をひんぱんに走るバスがうらやましかった。（のってこ号で）地域をまたぐ友だちの輪が大きくなり、生活インフラを担えれば」とあいさつした。

地域資源の開発①

- 坂道が多い
- 車の運転をやめると買い物等に困る方が多い
- 参加していない町会でも、参加希望の住民がいるのではないか？

地域資源の開発①

- のってこ利用者に満足度アンケート調査実施
- 2024年1月アンケート結果をのってこ役員会にフィードバック

- 2024年4月より1町会利用追加
- のってこ運営委員会にて田上町会連合会との話し合いを予定

- 2024年包括支援センター後期運営懇談会にて報告し地域課題の一つとして検討を予定

地域課題の検討

- ふらっとバスルートは、比較的外出しやすい
- コミュニティバス新設するときの運営費用など
- ふらっとバス、コミュニティバス利用継続するには、乗降できる筋力があることが必要(介護予防)
- 上記が無理な状況の方には、移動販売車が有効

地域資源の開発②

～地域の声～

- 地域サロンまで歩いていけない(田井町住民)
- 歩いていくことができる集いの場が欲しい(田井町住民)
- 数年前、田井町での集いの場開催の検討がされたが場所が見つからず(地区社協)
- 集いの場として移動販売車誘致(地区社協)
- R6年田井町の住民から集いの場を開催したいという声を聴く(包括)

地域資源の開発②

集いの場に向けて準備開始

- 主催希望の方からどのように考えておられるかの聞き取り(包括)
- 補助金利用のことなど金沢市社会福祉協議会地域担当生活支援コーディネーター交えて相談(主催者・社協・包括)
- 地域の会議(地区社協や町会連合会)にて上記の声があることを発信(包括)
- 町会長に相談(主催者・市社協・包括)
- 町会・老人会役員・民生委員等を交えて協議(令和7年春開始に向けて協議中)

地域資源の開発②

集いの場に向けて

- プレ開催 11名参加(60歳代～80歳代)
- 参加者の声 「このような場が欲しかった」「笑って、楽しい」
「仲良くしておくと災害の時も助け合えるよね」
- 参加者の中からボランティアスタッフを募っていく予定

ご清聴ありがとうございました

